

<調査対象>

◎調査期間：平成28年3月下旬～平成28年4月上旬
 ◎調査対象：当会情報連絡員（業界組合）58団体

〔回答 50団体 ・製造業：31団体中25団体
 ・非製造業：27団体中25団体〕

<結果のポイント>

(1) マイナス金利の影響について

2月16日から始まった日本銀行のマイナス金利政策について、景気に及ぼす影響が様々に議論されている中、県内の中小企業者はマイナス金利の導入が事業にどのような影響を与えているのか把握するため、業界組合に聞いてみたところ、次の通りであった。

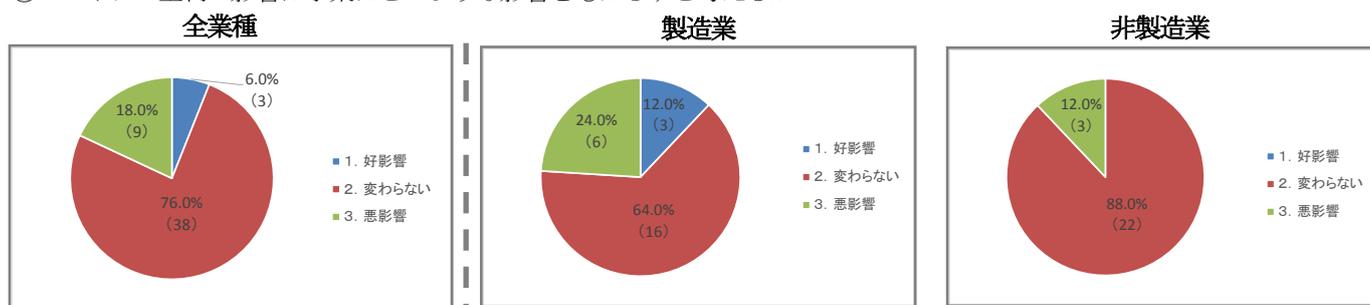
○全業種では、「変わらない」が76.0%と最も多く、「悪影響」が18.0%、「好影響」は6.0%と続いた。導入からまだあまり時間が経過していないとはいえ、多くの業界が事業には影響を与えないと考えているようである。その理由としては、製造業・非製造業共に「先行き不透明で設備投資意欲はなく、特に影響はない」が多く、盛り上がり欠ける現在の景況感を表しているようである。

(2) 業種別詳細

○製造業においても、「変わらない」との回答が64.0%と最も多く、「悪影響」が24.0%と続いた。「悪影響」の理由は、「預金金利の低下を懸念して、個人消費が抑制される」、「預金金利の低下を懸念して、タンス預金が増えて、お金が回らない」が多かった。なお、製造業では「好影響」との回答も見られ、その理由は「住宅ローン金利が下がって、住宅需要が盛り上がりそう」、「銀行の貸出金利が下がって、設備投資ができる」であった。
 ○非製造業においては、「変わらない」との回答が88.0%と、多くの業界の事業に影響は与えないようである。また、「悪影響」との回答は12.0%と僅かに見られ、その理由は「預金金利の低下を懸念して、個人消費が一層抑制される」、「金融機関は収益悪化を懸念して、かえって貸出態度は厳しくなる」であった。なお、「好影響」との回答は見られなかった。

*現在のところ、マイナス金利導入は県内中小企業者の事業にはあまり影響は与えなさそうである。

① マイナス金利の影響は事業にどのような影響をもたらすと考えるか？



② ①の回答の理由（複数回答）

製造業

| 1. 好影響と回答した理由 | |
|-----------------------------------|----|
| 住宅ローン金利が下がって、住宅需要が盛り上がりそう | 1 |
| 銀行の貸出金利が下がって、設備投資ができる | 2 |
| 2. 変わらないと回答した理由 | |
| 銀行の貸出金利が下がって、設備投資ができる | 1 |
| 先行き不透明で設備投資意欲はなく、特に影響はない | 11 |
| 預金金利の低下を懸念して、個人消費が一層抑制される | 2 |
| 預金金利の低下を懸念して、タンス預金が増えて、お金が回らない | 1 |
| 3. 悪影響と回答した理由 | |
| 金融機関は収益悪化を懸念して、かえって貸出態度は厳しくなる | 2 |
| 預金金利の低下を懸念して、個人消費が一層抑制される | 4 |
| 預金金利の低下を懸念して、タンス預金が増えて、お金が回らない | 4 |
| その他(既に超低金利の中、下がる余地が少ない。銀行経営を圧迫する) | 1 |
| その他(株価低迷と円高の進行に繋がっている) | 1 |

非製造業

| 2. 変わらないと回答した理由 | |
|-------------------------------|---|
| 住宅ローン金利が下がって、住宅需要が盛り上がりそう | 1 |
| 金融機関は収益悪化を懸念して、かえって貸出態度は厳しくなる | 2 |
| 先行き不透明で設備投資意欲はなく、特に影響はない | 6 |
| 預金金利の低下を懸念して、個人消費が一層抑制される | 3 |
| その他(今のところ変化はない) | 4 |
| 3. 悪影響と回答した理由 | |
| 金融機関は収益悪化を懸念して、かえって貸出態度は厳しくなる | 1 |
| 先行き不透明で設備投資意欲はなく、特に影響はない | 1 |
| 預金金利の低下を懸念して、個人消費が一層抑制される | 3 |